

## ●資源循環型施設整備計画の概要

### 1. 事業計画

- 1) 事業の背景
- 2) 事業の基本的な考え方「3つの柱」
  - ①各種資源化施設の整備を通して、町田市における循環型社会の構築を図る。
  - ②「町田市一般廃棄物資源化基本計画」に基づき、2009年度から2020年度にかけて、ごみ処理量の「40%削減」に取り組む。
  - ③「環境配慮」と「市民協働」の施設建設を目指す。
- 3) 施設整備の「5つの特徴」
  - ①「高効率発電」と「厳しい排ガス基準」を実現する。
  - ②家庭の生ごみをエネルギーに変える。
  - ③プラスチック（容器包装プラスチック）の積極的な資源化を図る。
  - ④施設の「分散化」等を通じて、全市民が参画するごみ処理体制をつくる。
  - ⑤住民参加のもとに、環境学習など地域に貢献する施設づくりをめざす。
- 4) 計画ごみ処理量と資源化量
- 5) 新たに整備する施設の概要
- 6) 全体の整備スケジュール

### 2. 建設地選定の経緯

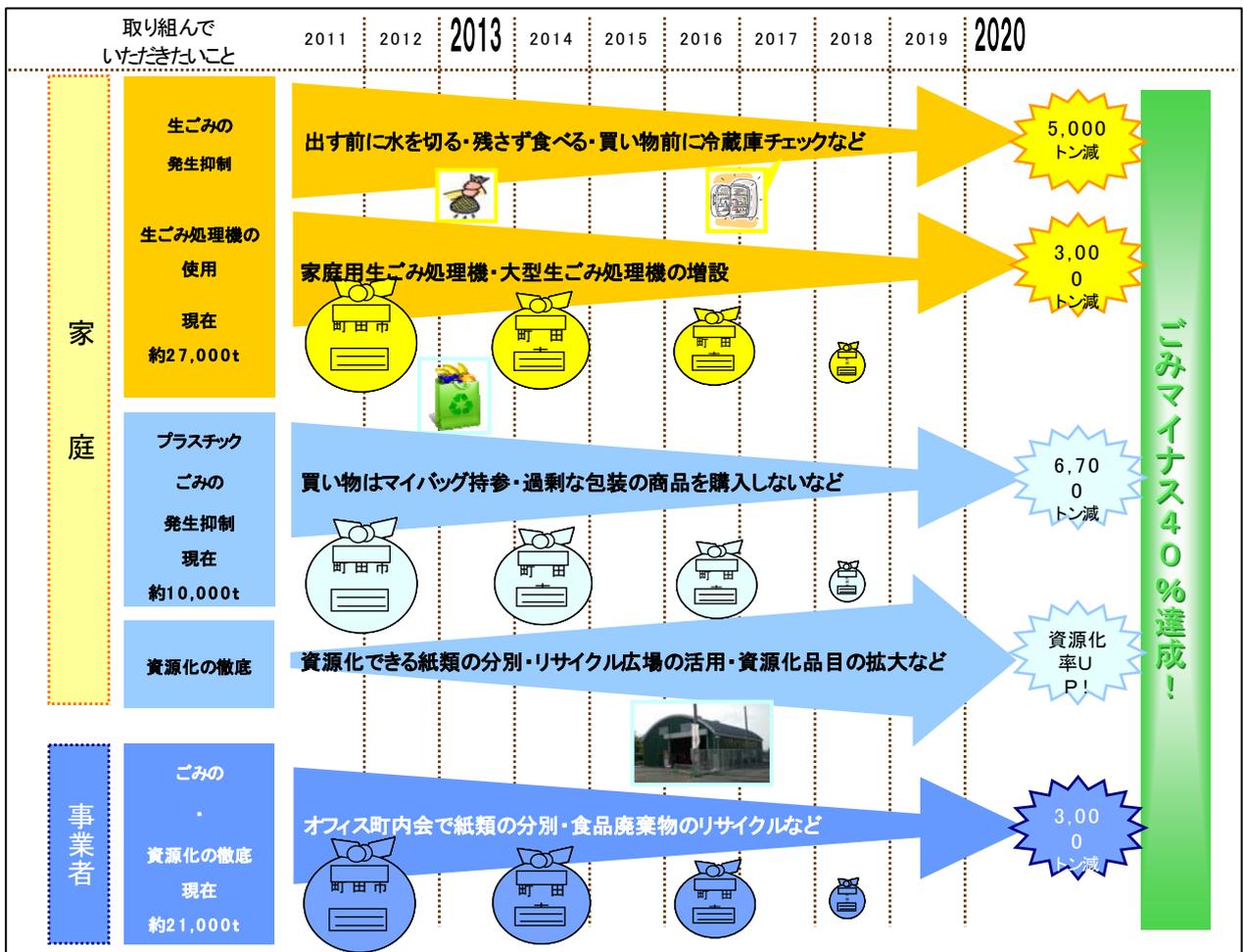
- 1) 選定の流れ  
選定の基本的な考え方、スケジュール、選定における検討項目など
- 2) 各段階における検討結果  
一次、二次、三次各段階における選定結果など
- 3) 市による選定結果  
資源ごみ処理施設の建設地選定結果



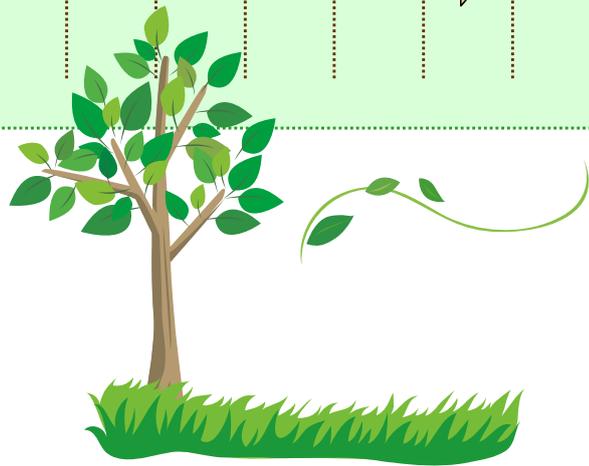
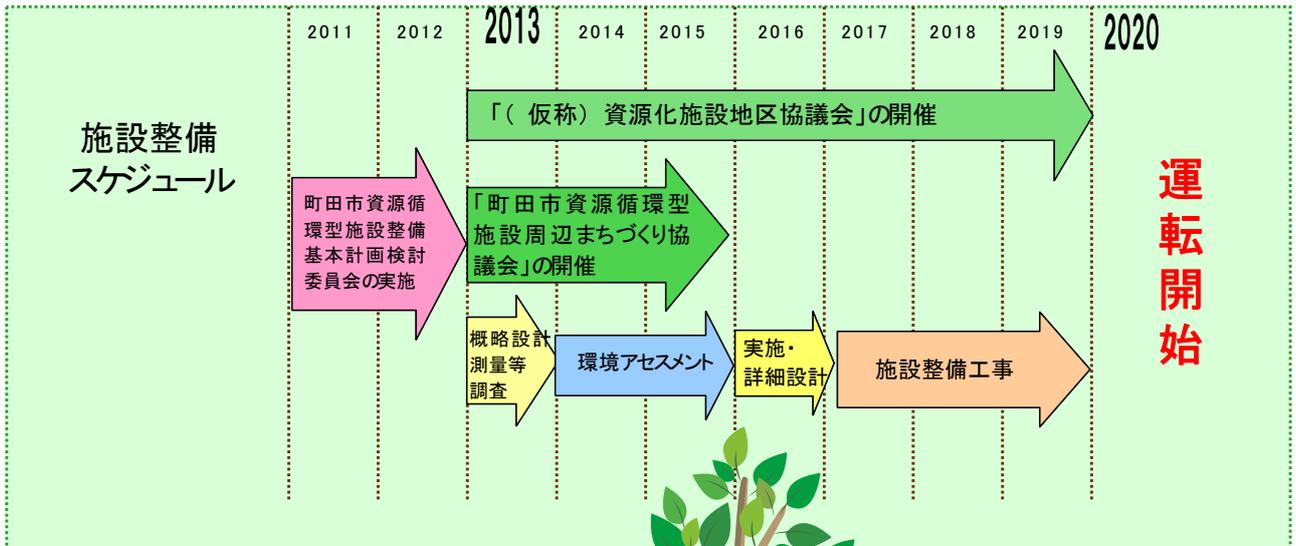
# 新たな「ごみの資源化施設」の 建設地周辺にお住まいの 皆さんと話し合いを進めます。

1982年 ~	町田リサイクル文化センター(焼却施設・450t /日)
2006年10月 ~	「ごみゼロ市民会議」
	130人以上の市民が、280回以上の会合。 ごみの減量化・資源化について提言。
2009年 6月 ~	「町田市廃棄物減量等推進審議会」
2011年 4月	「町田市一般廃棄物資源化基本計画」策定
	2020年度までにごみとして処理する量を40%削減
2011年 5月 ~	「町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会」
2012年11月	検討委員会より検討結果の報告

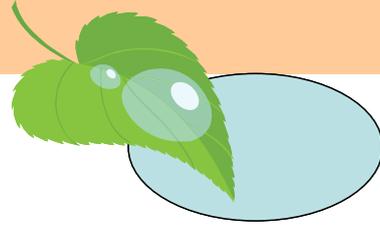
(2013年2月6日記者発表資料をもとに構成しています。)







## 2. 資源ごみ処理施設



### ● 資源ごみ処理施設

施設整備費 約58億円(3箇所合計)

所要面積 約11,700㎡

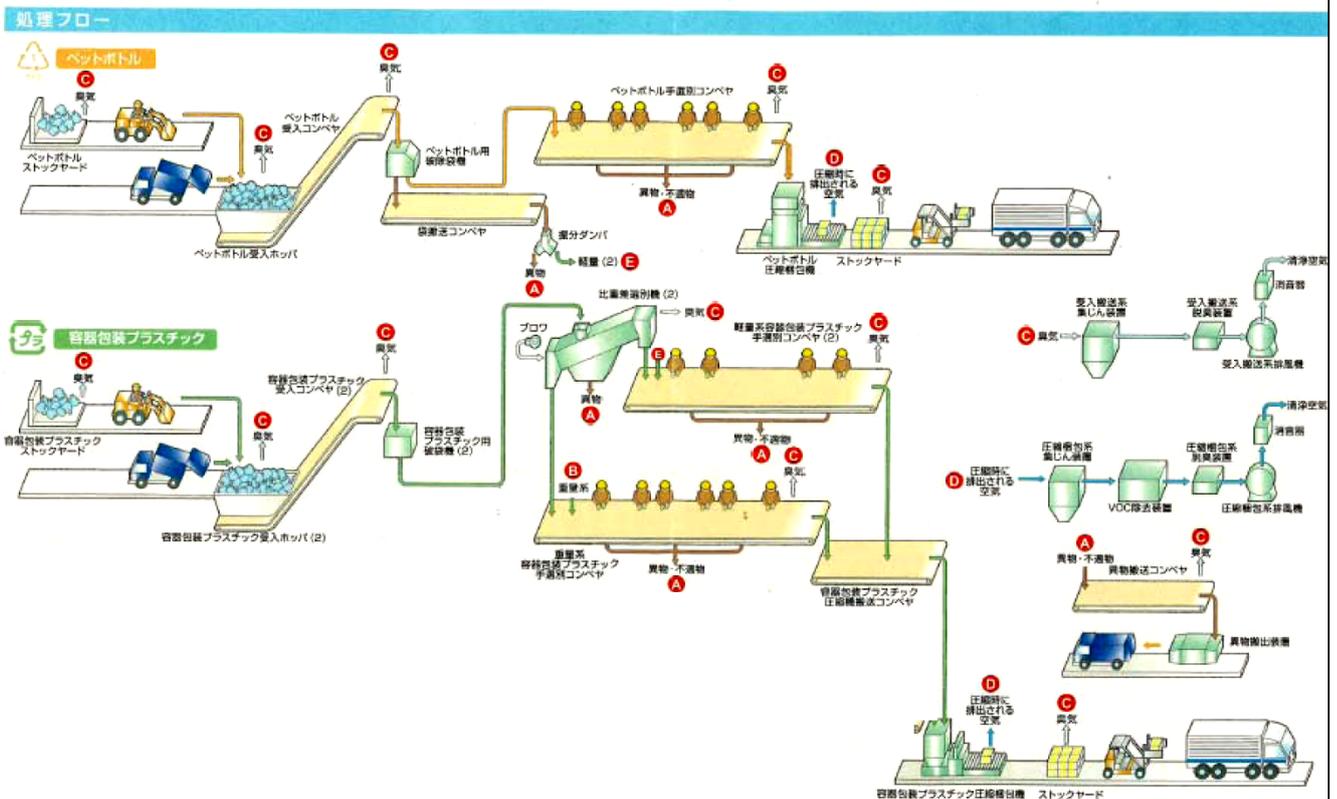
(1箇所当たり「リレーセンターみなみ」は除く)

#### 【分散配置の考え方】

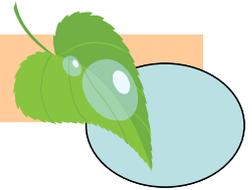
- ① 収集車の台数や移動距離を削減し、**環境への負荷軽減**が図られること
- ② **施設の代替性と補完性**を備えられること
- ③ 地域住民のごみの資源化に関する**意識の向上を促す拠点等**とするため

- 既存施設の「リレーセンターみなみ」を含め、**市内3箇所**に分散化し整備します。

### 資源ごみ処理施設のフロー(例)



## ●資源ごみ処理施設の環境負荷の低減



- ・ 資源ごみ処理施設は、これまで屋外・半開放状態で、受入れ・選別作業等を行ってきたが、新たな施設は全てを屋内に設置し、周辺環境に配慮した構造とする。

①ビン、カン選別場所からの騒音・振動抑制

②ビン、カン等貯留場所からの臭気防止

③容器包装プラスチックの圧縮・減容によるVOC※の除去

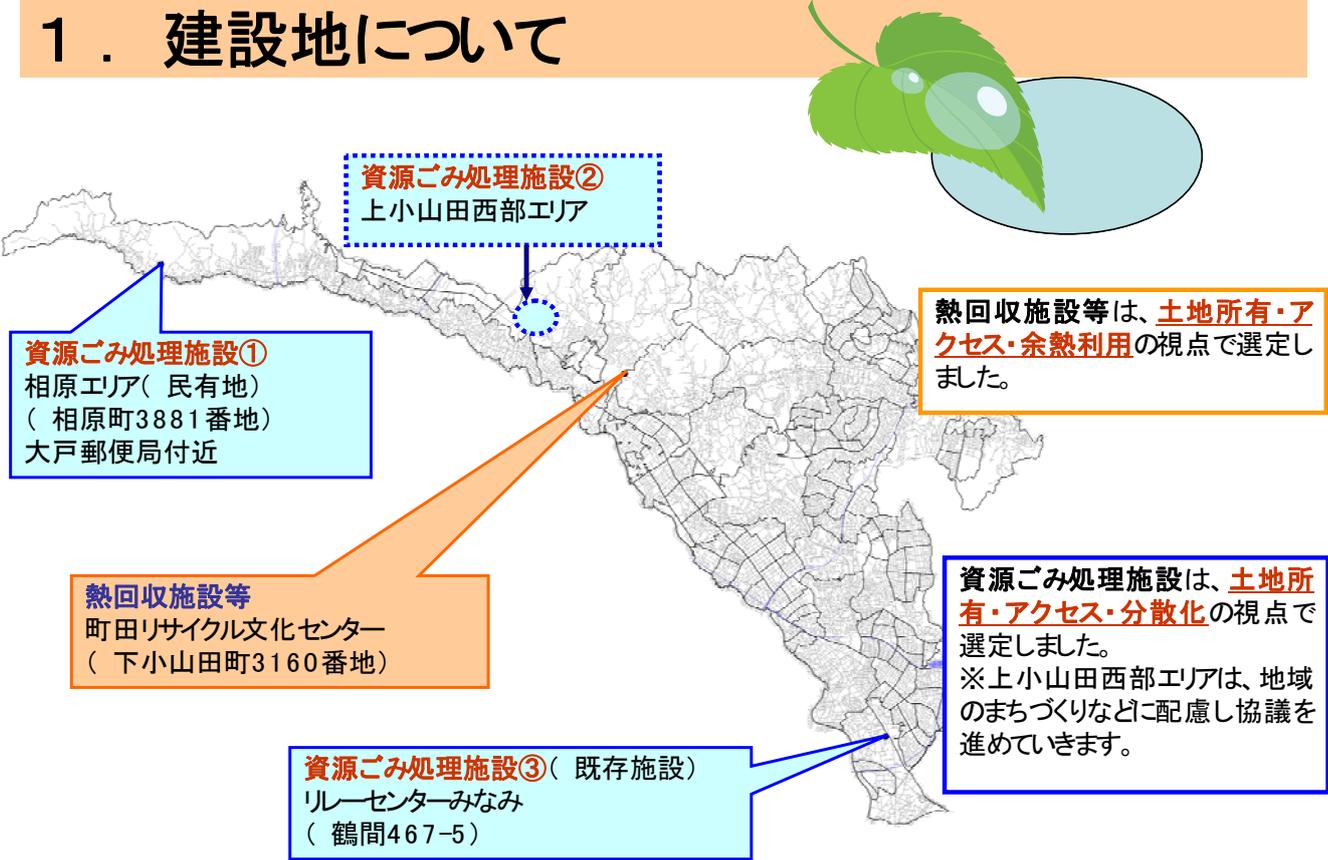
# 検討委員会からの報告 (建設候補地)



- 1) 客観的な視点と「3つのステップ」で絞り込み  
⇒熱回収施設等3ヶ所、資源ごみ処理施設8ヶ所の候補地を選定
- 2) それぞれの施設の組み合わせパターンを評価

■ 部分: 「熱回収施設等」と「資源ごみ処理施設」両方の候補地  
● 部分: 「資源ごみ処理施設」の候補地  
● 部分: 「資源ごみ処理施設」のうち「プラスチック圧縮梱包施設」のみを追加整備する場所

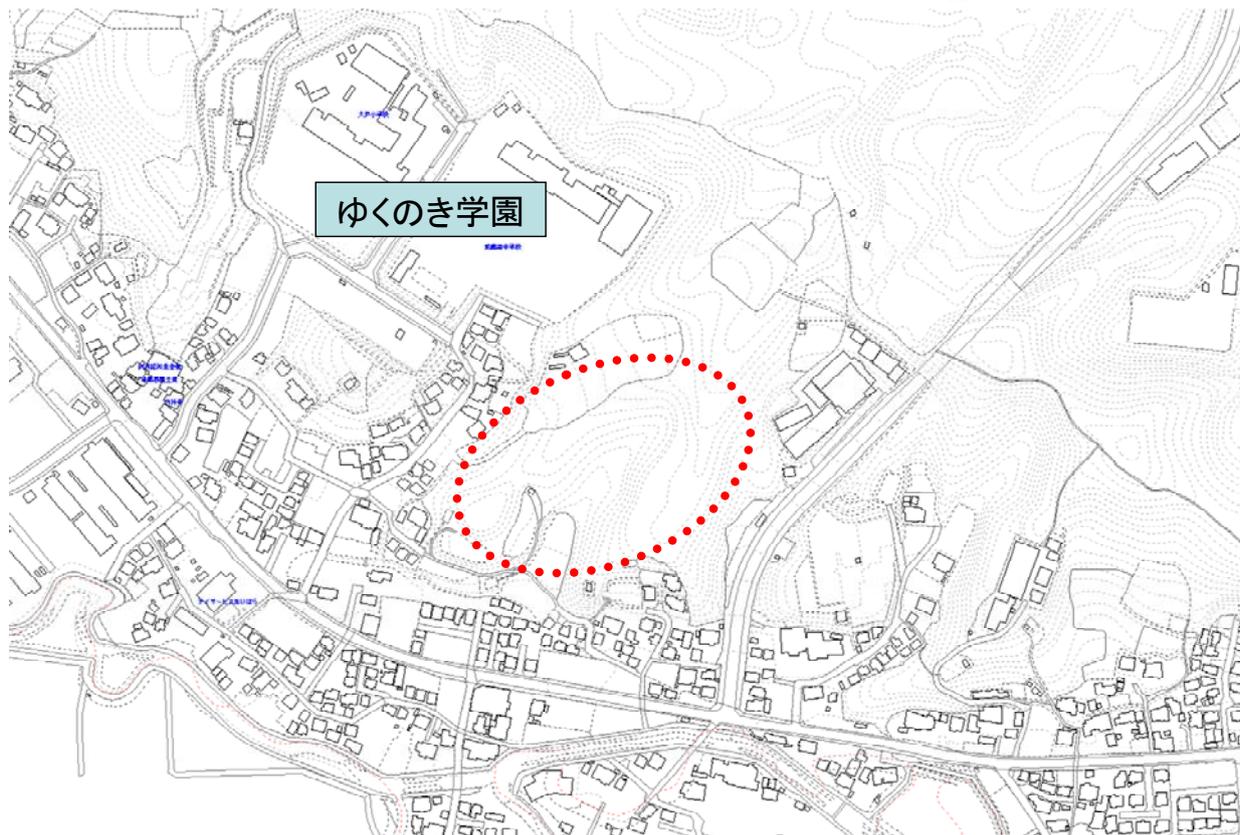
## 1. 建設地について



# 資源ごみ処理施設①



# 資源ごみ処理施設①



# 資源ごみ処理施設 ( 先進施設例 )



## プラスチックごみの圧縮・梱包 【一般的な作業工程】

### ●「エコプラザ多摩」( 多摩市 ) の例



## 【圧縮実験の様子・1】

2010.6.6



## 【圧縮実験の様子・2】

2010.6.6

